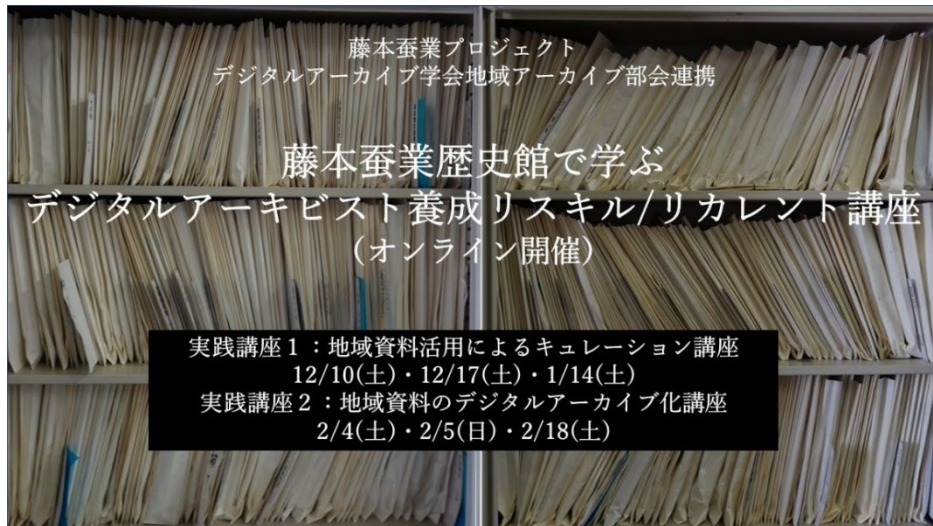


藤本蚕業歴史館で学ぶ
デジタルアーキビスト養成リスキル/リカレント講座
アンケート結果／受講報告



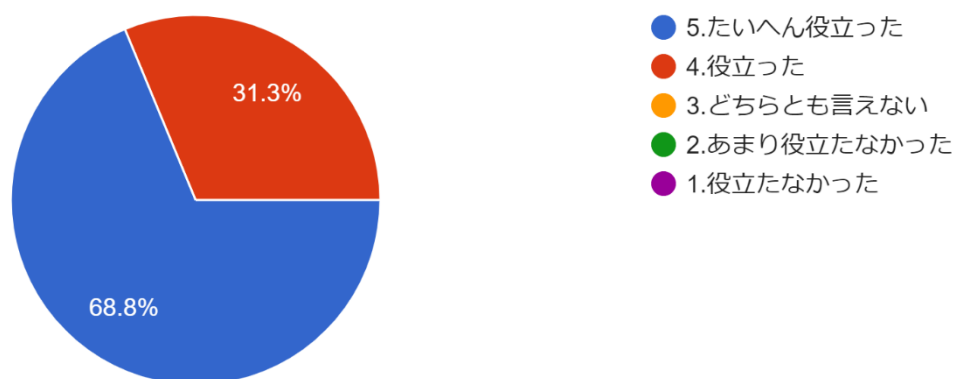
実践講座2:地域資料のデジタルアーカイブ化講座
全3回(2023/02/04, 02/05, 02/18)
アンケート結果
各回の受講報告

2023/02/27

藤本蚕業プロジェクト

藤本蚕業歴史館で学ぶデジタルアーキビスト養成講座
実践講座2:地域資料のデジタルアーカイブ化講座
全3回(2023/02/04, 02/05, 02/18)
アンケート結果(16名の回答)

▼この講座は役に立ちましたか？



▼講座の評価の理由（プラス面、マイナス面も含め）

- ◆藤本蚕業歴史館や参加者の方々のアーカイブの事例について、色々とお話を伺うことができ、非常に勉強になりました。また、自分自身でアーカイブ企画を考え、発表できたことも良かったです。これから自分がやりたいこと、方向性が見えてきた気がします。ありがとうございました。
- ◆デジタルアーカイブ構築に必要な知識を、リアルタイムと録画アーカイブ、そのどちらの機会も活用しながら得られた。
- ◆ライブ配信に参加できなくても、後日オンラインで試聴できる。
- ◆簡易なデジタルアーカイブの作り方が学べた
- ◆家で、資料整理の具体的な手順やデジタル化する方法、デジタルアーカイブの課題等を学ばせて頂き、ありがたかったです。講義内容を公開してくださっているので、何度もお聞きすることで理解が深まります。今後も公開し続けて下さると、見直しができます。質問や議論の時間があっても良いと思いますが、それでは講義が進みませんね。
- ◆皆さんの熱意が良く伝わりました。画面の共有に手間取り申し訳ございませんでした。
- ◆オンラインで受講できることは大変ありがたいです。可能であれば、VIDEOをONにして参加できれば表情や反応がわかってよいかもしれません。
- ◆地域資料のデジタルアーカイブ化にあたり、自分の地域が抱えている課題と向き合いな

がら取り組める内容でした。また、実践の場を設けて下さったことで、自分や地域の方がデジタルアーカイブに実際に触れることができ、そこから新たな課題や目標が見えてきました。

◆まずは前川先生、三回にわたり丁寧に指導頂き、有難うございます。プラス面としては、遠く離れた人達がウェブ上でコミュニケーションをとれること。マイナス面は、やや専門的で入門者に敷居が高いという印象。

◆他の方の取り組みを聞いて、とても参考になったから。

◆地域みんなで作り上げていくデジタルアーカイブの取り組みの素晴らしさを知ることができありがとうございました。

◆DAの専門性を含みつつも専門的になりすぎず、わかりやすく具体的な内容の講座でしたので、大変参考になりました。受講者の皆様がお持ちの関心や作業上の課題等も共有できて良かったとは思いますが、アーカイブズ関連のご経験が豊富な前川先生のこれまでのプロジェクトについて実施内容、作業過程、問題点とその解決策などをもっと伺いたい気もいたしました。

◆デジタルアーカイブを構築するにあたっての知識から、実際に先生方やほかの受講者の方がどのように実践されているかまで、現実的な流れの中で学ぶことができ、すぐにでも現場に生かせるように感じました。

◆講座の内容は、想定していたものとかなり違っていました。デジタルアーカイブのいろいろな分野での活かし方を知ることができ、デジタルアーカイブに対する見方が広がったように思います。

◆実施日に都合が付きませんでした。オンデマンドで受講ができ貴重なご意見や事例を学ぶことができ有難かったです。

◆実践的な講座を受けたことがなかったので、実際の作業方法やアーカイブ構築の考え方などとても参考になりました。また、発表で自分ごととして考えることで、その手順や必要な準備、連携の図り方など明確になった気がします。アドバイスもたくさんいただけて大変感謝いたしております。

▼藤本蚕業歴史館と所蔵史料についてご関心を持たれたことは？

◆たしか明治初期に、地域の学校に関わった資料があったと思います。企業の地域への関わりについて触れたことは、大変興味深かった。

◆蚕種製造の技術の進歩

◆藤本蚕業の方は高い意識を持って蚕種を製造されていたが、その意識は御先祖様の資料を費用を出して記録保存するということにも繋がっていると感じました。資料目録の中の資料解説は、現在 NPO で扱っている旧家の資料整理に当たって参考になるものでした。

◆蚕種業の技術や経営の実態について、実際に関わった人々のリアルな記録と感じました。

- ◆私の PC をのぞき込んで、老母が村の入口にあった養蚕農家を見学した思い出を話してくれました。遙か昔ですが子供心に残ったようです。
- ◆史料整理のご苦勞がよくわかりました。一度現地を訪れてみたいと思っています。
- ◆バックヤードの資料は、先生方と同様、興味深く現場で一緒にみているような気がしました。
- ◆資料のまとめ方(目録の作成)などがとても参考になりました。
- ◆近現代史研究の観点、大学との連携、という2点について特に関心を持ちました。「実践講座1」は都合がつかず参加できませんでしたが、d-commons の講座資料をもとに、さらに学びを深めたいと思っています。
- ◆近年、六工社や六文銭合資会社など養蚕業に関する資料の寄贈が増えているため、藤本蚕業歴史館所蔵の養蚕関連資料を拝見できたことと、その詳細を教えていただくことができ、大変興味深く感じました。
- ◆藤本蚕業が収集保存していた文献類は、業務のなかでどのように扱われていたのか、関心を持ちました。
- ◆私が住む各務原市からも蚕種が購入されていたのか、という点が気になりました。また学芸員あるいはそれ相応の視点から展示に関する助言や助力はあるのでしょうか。

▼講座の中で特に印象的だったこと、役に立ったこと

- ◆知識循環型社会のリカレント教育という体験。サイト構築のとっかかり。
- ◆デジタルコモンズは、知れば知るほど可能性を感じるものでした。
- ◆実習
- ◆今の日本社会はデジタルアーカイブの必要性を感じない社会であるとお話しになったこと。
- ◆オンデマンドで受講している間は d-commons と信州上田デジタルマップの区別がつきませんでしたでしたが、対面で聞くと分かりやすく楽しかったです。
- ◆企画披露会でのさまざまなアイデアに、気づきがあり、ヒントもいただきました。
- ◆全くジャンルの異なる、他の受講者の方々の考え方や取り組みがそれぞれ印象的でした。地域で抱えている地域資料デジタルアーカイブ化への課題（たとえば小学生の副読本の件など）は、大きく違わないのかも知れません。
- ◆デジタルアーカイブに情熱を持って取り組まれている人を、具体的に知ることができたこと。
- ◆デジタルアーカイブには様々な題材や取り組みがあり、こらからの可能性を感じました。
- ◆実践発表で受講者の皆さんの企画実践事例を知ることが出来有意義な機会を提供してくださりありがとうございました。
- ◆今回の講座で長野大学さまの実例を拝見し、大学の教育（授業）とアーカイブズとが連結

し相乗効果をもたらしているようで大変すばらしいと感じました。思いがけず前川先生が音楽領域（端山貢明氏）のアーカイブズにも関わられているということで、情報や人脈のネットワーク形成の重要性も再認識いたしました。個人的には、最終回に桂木さまや朝倉さまのコメントをいただけたこともありがたかったです。普段は音楽領域の関係者と接する機会が多いので、音楽関係を専門とせず部分的に近現代史や教育といった面で接点のあるかたがたのご意見にふれることで、大いに勇気づけられたり色々と気づかされたりいたしました。

◆普段、歴史という狭い世界で活動し講習にも参加しておりますが、今回のように他分野の方々が参加される講座は大変有意義でした。中でもデジタルアーカイブの方法のひとつとして、「音楽を保存する」「諏訪の木遣り」の楽譜を保存・公開するという方の発表がとても参考になりました。歴史学と連動して調査の対象となる分野に民俗学があります。民俗学は歴史のように文献資料だけでなく、伝承（口伝）がその歴史をつなぐ方法の一つとなります。そのような情報を保存し後世へ伝えていく方法として大変効果的なものと感じました。

◆デジタルアーカイブを構築する際、持続性や広がりを持たせるためには、「利用者の立場に立った平易で運用しやすいシステムにする」ことが大事だということ。前川先生や朝倉さんのお話を通して実感しました。

◆公共図書館であったり個人であったりと背景が様々な受講者の皆様が、史料を後世に残すために情熱を持って取り組んでいる様子が印象的でした。

◆アーカイブ化を進めたい各地域の遺跡や住居群はどれも興味深いものばかりで、それが蔑ろにされているのは非常に勿体無いと感じました。しかし、それは私がおの出身地ではないからそう映るのであり、私の住む地域にも、あるのが当たり前だけど他地域から来た方から見れば、素晴らしい・残すべき史料が眠っているのだろうと思いました。

◆d-commons の使い方のシンプルさが興味深く、「公共性のある SNS」のようだと感じました。著作権の範囲の設定など違う部分はありますが、facebook や instagram を使える人ならば利用できそうで、私の中で DA に対するハードルが下がりました。

◆また、アーカイブは育てるもの、という朝倉さんのお話が印象的でした。作って終わりなのではなく、その後もコンテンツを増やしたり、メタデータを整理したりといった管理が必要。また、それを活用する「面白がる人」を誘導したり育てたり・・・という仕事も必要な、超長期的なプロジェクトなのだと感じました。

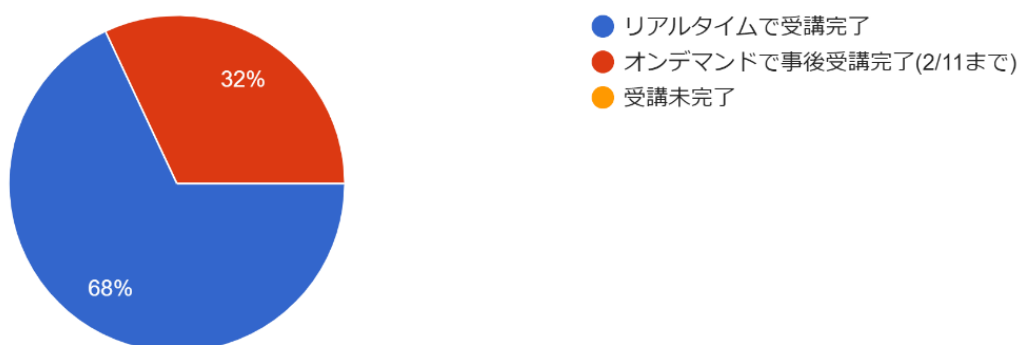
◆事後視聴になりましたが、巻物を開けた時の驚きはとても伝わりました。個人的見解ですが、歴史的な瞬間だったように思えました。また参加者の既に取り組まれている方々の実務ならではのご苦労や問題提起があり、そういった仕事に関わることができれば参考にしたと思います。

▼地域資料のデジタルアーカイブ化についてのご質問、ご要望

- ◆地域資料の永続的公開について、道筋を見出したいです。
- ◆とにかくスキルを身につけたいです。
- ◆「デジタル」というツールは大切ですが、何をどのようにアーカイブするのか。デジタル化以前にも考えるべきことがあるように思います。
- ◆今のところありませんが、今後質問などさせていただくかと思えます。よろしくお願いいたします。
- ◆このような講座が多く開催され、もっと世の中に浸透していけばいいなと思います。
- ◆DA 構築・活用のガイドラインや注意点などについてもっと知りたいなと思いました。(自分でもこれから勉強したいと思っております。)
- ◆自治体の中には、DX 推進のため、トップダウンでデジタルアーカイブ化を進めるところもあるのではないかと思います。その場合、費用ばかりがかかって使いにくいデジタル化になる懸念があります。
- ◆下諏訪町以外に、デジタルアーカイブ化のよい自治体の例がありましたら、教えてください。
- ◆県立高校に声掛けするご提案をいただいたので、県の担当に近いと思われる方に相談してみようと思います。ありがとうございました。今後もよろしくお願いいたします。

藤本蚕業歴史館で学ぶデジタルアーキビスト養成講座
実践講座2:地域資料のデジタルアーカイブ化講座
第1回(2023/02/04) 藤本蚕業歴史館に学ぶ地域アーカイブの課題
受講報告(25名の回答)

▼受講形態



▼ご意見、ご質問等

- ◆DA構築の要件として、プログラムの差替えが可能、というのは具体的にどのようなことを指すのでしょうか？
- ◆本日はわかりやすく実践にも繋がる様々なお話をありがとうございました。端山貢明先生に師事したという方が身近にいるので、d-commonsの動画やPDFも興味深く拝見しました。
- ◆私は研究者や関連の仕事に携わっているものでなく、アーカイブというものへの興味のみ、何の知識もないまま参加させて貰いました。よって発表できるテーマや課題などは特にございませんが、明日も楽しく受講させていただきたいと思います。
- ◆藤本蚕業所蔵資料の目録を作成された方から直接心構えや目録を作る過程をお聞き出来て参考になりました。歴史背景を知っているからこそ読み取れる価値がありますが、それを利用者が持っているかは別の話です。解説で説明するのが親切なのでしょうか。
- ◆最後のセッションで、受講生の方々の色々な事例を聞くことができ参考になりました。
- ◆前回に引き続き大変参考になりました。
- ◆本日はありがとうございました。大変勉強になりました。明日は出張移動中に受講予定のため、途中退出や受け答えが不可能なときがあります。受講できなかった箇所はオンデマンドを利用させていただこうと思っています。よろしく願いいたします。
- ◆第1回のときも感じたことですが、参加者のお話を聞いて、デジタルアーカイブへの関

心は、図書館関係者以外にも各人あるのだとわかりました。図書館と連携したり、相互リンクをはりたい、というようなこともできるかもしれませんね。

◆ご講義ありがとうございました。また皆さんのアーカイブ構築課題をお聴きしたことで、自身の関心や課題が明確になりつつあります。「みんなで作る DA 地域学習読本」目指して頑張ります。ありがとうございました。

◆未整理資料を紹介している時の音声聞き取りにくかったです。

◆丁寧なご指導ありがとうございました。前半の資料の扱い方や注意点、実際の目録作成方法もわかりやすく、学ぶところが多かったです。また参加者の方々のアーカイブ構築課題に共通項があるのが大きな発見でした。私自身は美術館のほか学校教育現場で働いており、その2つの視点から地域資料や地域産業(当地も昔は養蚕がさかんで現在は数少ない絵絹の産地です)のアーカイブ化と教育利用ができないかと漠然と考えています。また副読本についても、幸い各学校ごとにあっても紙の本ゆえに更新されていない、ひとり1冊の配布は予算的に難しいのが現状で、他の参加者の方と同様に課題が多いと捉えています。アーカイブ化して一般に公開できれば、新たな情報も寄せられ随時更新が可能になると考えています。

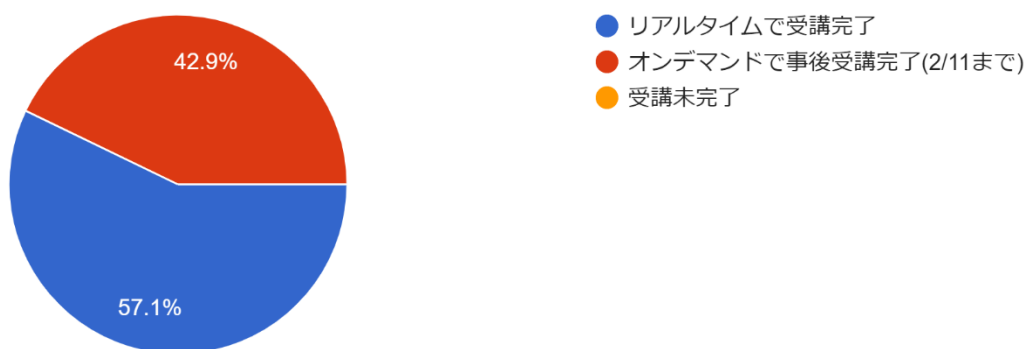
◆オンデマンドで受講させていただきました。市民参加型のデジタルアーカイブ、大学の史料編纂アーカイブ、個人の所蔵資料(公人だったため公文書も保存)を手掛けてきましたが、自身の業務の振り返りも含め、大変参考になりました。共通する課題があることも実感しました。質問もありますが、2/5の講座にて解消されるところもあろうかと思しますので、第2日を受講したのちに、改めて質問させていただきます。ありがとうございました。

◆当館では「下諏訪町デジタルアルバム」をネットで公開しています。昭和初期の古い写真などを公開し、所蔵者に許可を得た写真はダウンロードも可能になっています。下諏訪町をよりよく知ってもらおうということで、現代の写真も含めて公開しているのですが、写真のメタデータの入力に苦慮しています。調査中のものも多く、アップできない写真もあり、どこまでをメタデータとして入力すべきなのか、ご教授いただくと助かります。

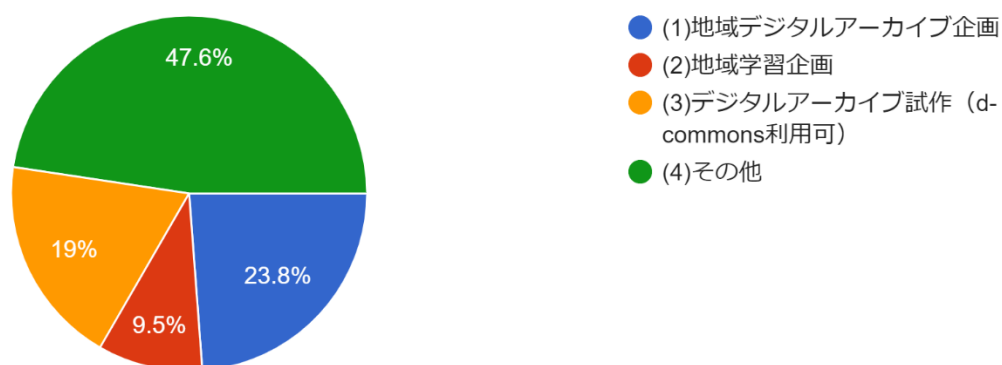
◆アーカイブ化に伴う具体的なプロセスをお教えいただき参考になりました。

藤本蚕業歴史館で学ぶデジタルアーキビスト養成講座
 実践講座2：地域資料のデジタルアーカイブ化講座
 第2回(2023/02/05) 地域資料デジタルアーカイブの構築に向けて
 受講報告(21名の回答)

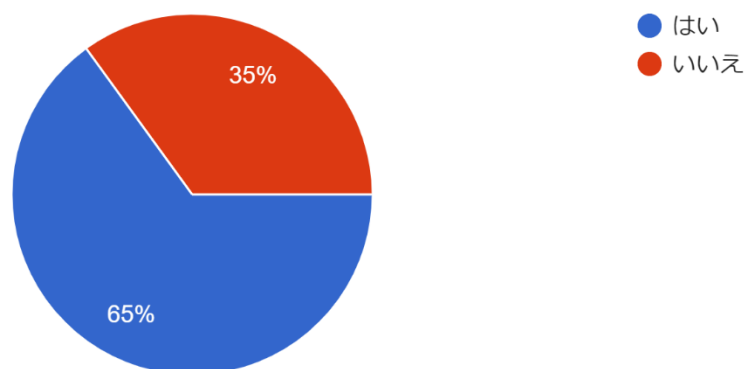
▼受講形態



▼あなたの企画等は？



▼デジタルアーカイブクリエイター認定希望 (回答 20名)



▼ご意見、ご質問等

- ◆内容が稚拙で、地域学習・活性化から遠い発表内容となってしまうようで申し訳ありません。
- ◆本日の前川先生のお話を拝聴し、大学アーカイブも他大学、他機関、地域とも連携していければ良いなと実感いたしました。長野大学さんにはアーカイブ関連のプロジェクトや授業が複数あるようで大変うらやましく存じます。今後、アーカイブ系の学会への参加も検討しておりますので、ぜひ今後ともよろしくお願ひ申し上げます。
- ◆デジタルアーカイブクリエイターは1期で申請済み。2/17（金）・18（土）共に仕事と研究会で埋まっております、事前収録できません。別の機会がありましたら、その際に報告させていただければと存じます。
- ◆上級デジタルアーキビスト、図書館司書の資格は一応取得しましたが、実務は全く未経験です。デジタルアーカイブクリエイターの認定もあった方が後々役に立つでしょうか？
- ◆多様な目的をもった受講生の中に、自分の経験や興味と重なる方がいて、興味深かったです。また、デジタルアーカイブの活用という観点は、構築と同様に重要性を感じます。
- ◆昨日はありがとうございました。2/18 までに形にできるかわかりませんが、いろいろと検討をしていきたいと思ひます。
- ◆18日に用事ができたので、リアルタイムの参加が不可能になりました。課題をあらかじめお送りしなければ、と思っておりますが、前日にご対応くださるとのこと。ありがとうございます。
- ◆Zoomにて話をさせてもらった伝統芸能関連をやる予定でしたが、肖像権や著作権の関係があり、企画や実際に行うことがかなり難しいので、上記の内容に変更させていただきました。
- ◆諏訪地域の「木遣り」をDA化出来たら面白いかなと思ひました。実家が下諏訪で、2年後には移住する予定で、地域の文化遺産のDAに参加したいと希望しています。下諏訪デジタルアルバムに動画や音声を掲載することが可能でしょうか。これまでの記録の有無に関して木遣り保存会に問い合わせしてみたいと思ひています。下諏訪デジタルアルバムの担当者など、繋いでいただける方をご紹介いただけることは可能でしょうか。
- ◆事前収録についてのご相談をメールでお送りさせていただきました。よろしくお願ひいたします。
- ◆2日目の視聴終わりました。様々なご教示ありがとうございました。地元の方のインタビュー動画は画像に対して説得力が増すと感じました。私が住む市にもd-commonsのようなサイトがあれば、地域学習が活発になるのではと感じています。
- ◆オンデマンドで受講させていただきました。何点かうかがいたい点がありますので、のち

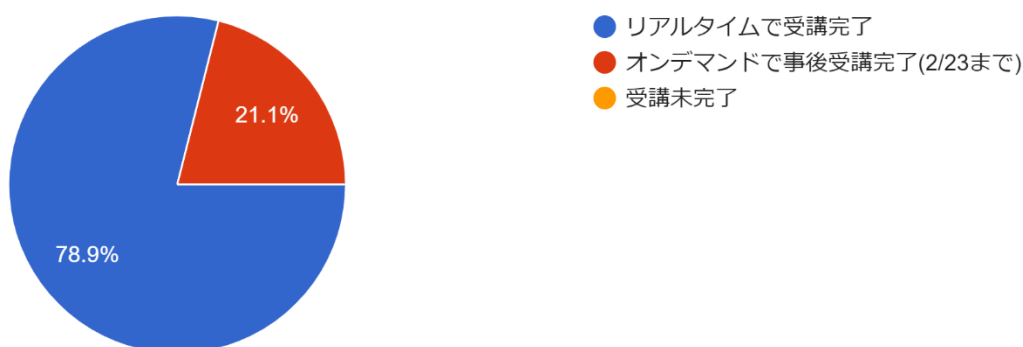
ほど前川先生に連絡させていただきます。ありがとうございました。

◆前川先生、今回もありがとうございました。第2回は14時半頃までしかリアルタイムで受講ができなかったため、後半はオンデマンドで復習させていただきました。引き続きよろしくお願いいたします。

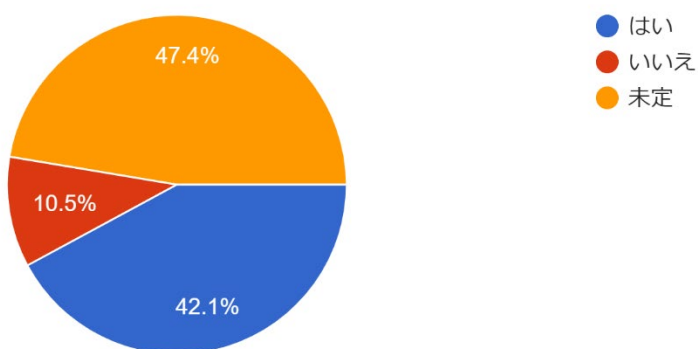
◆2日目をオンデマンドで受講させて頂きました。その時点で、当図書館の「下諏訪町デジタルアルバム」の紹介とご説明をいただき、このデジタルアルバムの方向と意義を再確認させていただきました。現在、当町の博物館との連携で、報道での写真利用の申し込みを受けたり、掲載写真を過去の新聞記事と共に「下諏訪今昔新聞」を作成し、館内に展示、またメタデータがはっきりしない写真を館内に掲示して、情報収集を行ってみたりと活動を行っているところです。この「デジタルアルバム」を今後どのように広げていったらよいか、と思い受講をさせていただいたこともあるのですが、考えを発表できるまでにまとめきることが出来ず、申し訳ありませんが、今回発表に不参加とさせていただきます。力不足で申し訳ありませんが、よろしくお願いいたします。

藤本蚕業歴史館で学ぶデジタルアーキビスト養成講座
実践講座2:地域資料のデジタルアーカイブ化講座
第3回(2023/02/18) 皆さんのデジタルアーカイブ/地域学習企画披露会
受講報告(19名の回答)

▼受講形態



▼「地域アーカイブサロン」への参加希望



▼ご意見、ご質問等

◆3回の講義を通じて、最前線で活躍されている方々のお声を聞けてとても勉強になりました。貴重な機会を頂き感謝しております。ありがとうございます。

◆公開したデジタルアーカイブの継続を制作した人が何とか守る算段をしなくてはいいと今まで考えていましたが、次の担い手を育てて繋げたり、新しいサービスに身軽に乗り換えたりすると良いという案を初めてお聞きしました。メタデータをシンプルにして沢山アーカイブを作るのが良いという話がありましたが、シンプルにするのが良いという意味

がわかりませんでした。フィギュアスケートの方がどんな衣装を着ていたかをメタデータに入れると仰っていましたが、衣装の画像をデータとして入れるにはどのような方法があるのか知りたかったです。取り扱う資料の専門家ではない場合、どのような検索語を付けたら良いか考えるのは難しいです。講座の中では図書館で使う十進分類法の話が出て来ましたが、利用者が希望の資料に辿り着きやすくするために、他の皆さんはどんな方法を使っていらっしゃるのか知りたかったです。

◆SNS はやっておりますが、可能であれば何らかのかたちで「地域アーカイブサロン」にも参加できれば嬉しく存じます。

◆準デジタル・アーキビストの講習を受けたいです。

◆12月とあわせて大変貴重な講座をありがとうございました。今後もときどき相談などさせていただきます。よろしくお願いいたします。

◆個人の家系図データでも、デジタルコモンズを活用できますか？

◆講座を開催していただきありがとうございました。とても参考になりました。

◆今後も継続して当講座の開催を希望します。職員の配置換え等で今回受講した芹沢、村松がDA化に関われなくなっても計画が頓挫しないように、職員の意識を改革していきたいです。また、今後もアドバイス等いただけたらと思うのですが、講座が終わってもご連絡させていただいてよろしいでしょうか。

◆残念ながら3月の発表については期間が短く、年度末ということもあり進捗報告ができるころまでいかないと思われます。その場合は視聴参加のみでもよいでしょうか。また、機屋群のデジタルアーカイブを作るにあたり、d-commons を利用させていただくことは可能でしょうか。